



## 委員会視察

本市の課題や今後検討すべき点などについて、他市の先進的な取り組みを学ぶため、議会運営委員会と、3つの常任委員会がそれぞれ行政視察を行いました。視察内容は市議会全員協議会で各委員長から報告を行ったほか、議会図書室に報告書を備え置くことで、議員全員が情報共有し、今後の市政に活かします。

なお、図書室は公開していますので、報告書は皆さんにご覧いただくことができます。

### 議会運営委員会

草津市の議会改革の参考とすべく、議会基本条例を制定している先進市2市を視察しました。

#### 山口市 議会活性化の取り組みと議会基本条例について

**内容** 「市民にとって頼もしく思える市議会」を目指し、平成18年度から取り組む。広報広聴機能を充実させるための委員会の設置や、議会運営委員会に分科会を設置し、議会運営等についての調査研究を行い、報告書をまとめられた。また山口県で初の議会基本条例を制定している。

**考察** 熱心な取り組みをされているが、条例制定にあたり議員の全会一致を原則としたため、6項目において議論がまとまらず条文化できなかったことや、策定期間が短かったことは、本市の議会基本条例策定にあたり注意すべき点である。



#### 防府市 議会基本条例について

**内容** 「幅広く市民の意思を反映する」という議会の役割を果たすため、「市民に開かれた議会」「市民と協働する議会」を目指す。「危機管理について条文化」「議会モニター制度」「議会懇談会」「議会報告会」「議決事件の拡大」などを規定している。

**考察** 時流に見合った条例となっており、とりわけ議会の役割を再認識し、責務を全うしていこうとする全議員の覚悟、制定過程でのご苦労、議員一丸となった積極的な姿勢は、学ぶべきところが多かった。

### 総務常任委員会

草津市自治体基本条例の制定（平成23年7月）に伴い、現在策定が検討されている2条例について先進事例を視察しました。

#### 和光市 市民参加条例について

**内容** 市の重要な計画や条例の策定段階などにおいて、市民が参加する機会を担保する条例を平成16年から施行している。市民の政策提案やパブリックコメント<sup>⑩</sup>、公聴会などを実施する。

**考察** 条例により、市民が市政に参加する機会の増加、市職員の意識の変化など、効果が見られる一方で、条例の中に規定している市民政策提案制度、住民投票制度が実施されていないことや、公募の委員を募集してもあまり応募がなく、同じ方が何回も応募されたり、パブリックコメントに対して意見が出



ない等、運用の難しさは、本市の条例策定にあたり参考とすべき点である。

#### 大和市 住民投票条例について

**内容** 大和市自治基本条例に基づき、平成18年から施行している。投票資格を有する永住外国人の範囲や、投票の際の設問の原則として二者択一とすることを定めたもの。

**考察** 大和市においては今日までこの条例により住民投票が実施されていない。

今後、草津市においても同様の経過となることも予想されるが、住民投票が行われる時には、課題が生じないように、今から様々な事象を想定した条例づくりを総務常任委員会で議論し、市議会の総意をもって議決できるように進めていかなければならない。

### 文教厚生常任委員会

高齢化社会に向けた協働の取り組みについて、先進事例を視察しました。

#### 大牟田市 地域認知症ケアコミュニティ推進事業・あんしんささえ愛地域密着型まちづくり特区について

**内容** 認知症に対する理解を深め、地域全体で支える仕組みづくり。認知症コーディネーターの養成、もの忘れ予防・相談検診、徘徊ネットワークの構築など、様々な方面から認知症の人をサポート。また構造改革特別区域制度を利用し、指定小規模多機能型居宅介護施設を、要介護認定のない高齢者や障害児者等も含めた地域の交流拠点とするもの。

**考察** 認知症高齢者と、障害児者を中心として、それぞれの福祉政策と地域コミュニティ、まちづくり、ひとづくりが見事にセットとなって考えられた事業であった。草津市においても、これらの事例を参考にし、是非、市独自の政策として新しいものを生み出していければと思う。

#### 大野城市 高齢者移動支援事業について

**内容** 高齢者の買い物や通院などの移動手段を確保するため、移動支援車両「ふれあい号」を運行。市が車両を地域に無償貸与し、燃料費や保険料等のランニングコストを負担する一方、地域はボランティアによる車両運行スタッフの協力のもと無償運行とする。利用者の声を反映し運行ルートなどを決定。

**考察** ふれあい号は、草津市のみめバスの運行とは異なり、おしろプチ・オンデマンド・バスといったところかと感じた。草津市においても、高齢者のため、より必要とされ、喜ばれる移動交通政策を考案すべきだと考える。





**産業建設常任委員会**

持続可能なまちづくりについて、先進事例を視察しました。

**広島市**

**水の都ひろしまの推進「水辺のオープンカフェ」について**

**内容** 河岸緑地において、国の特例による社会実験として、オープンカフェやコンサートなどのイベントを実施。国・県・市と地域、市民団体、経済団体、学識経験者などで構成する「推進協議会」により運営。

**考察** 市と市民をはじめとする河川を取り巻く関係者との協働により、市の地域資源である河川を活かし、



魅力あるまちづくりを進めていること、また河川環境の維持に地域の人材と民間の活力をうまく取り入れた手法は、本市と広島市との

人口規模の違いにより、人をどう呼び込むかという課題は残るものの、本市の中心市街地活性化などの参考になる点が多くみられた。

**松山市**

**福祉・健康・医療のまちづくりと遅い交通の再生について**

**内容** 高齢化の進展に対応すべく「集約型のまちづくり」と「自転車や徒歩交通のみちづくり」を実施。整備にあたっては、全国初の**プローブパーソン調査**®などにより交通調査を実施。

**考察** 現状を数値化して示し、市民にわかりやすい説明をすることは、現状の課題と目指すべき都市のあり方、そこに至るプロセスをより具体的に市民と共有することができ、目指すべき都市を実現するための有用な手法である。

**特別委員会**

特定の問題や議会が特に必要と認める案件について、市議会では4つの特別委員会を設けて調査または審査を行っています。今回は、旧草津川跡地対策特別委員会と議会改革推進特別委員会について、現在の審議状況を紹介しします。

**旧草津川跡地対策特別委員会**

かつて市の中心部を東西に流れ、今は廃川敷となった草津川跡地の利用を検討しています。現在の基本計画案は、「公園や緑の軸として残し、緊急時には防災道路として活用する」となっており、委員会では、大きく分けて「公園や緑の軸とすべき」とする意見と「平常時から道路とすべき」とする意見があります。



公園や緑の軸とすべき	平常時から道路とすべき
<p>&lt;理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天井川は草津の宝であり、子どもたちに残すべき。</li> <li>・今あるものを生かして人が集まる空間とすべき。</li> <li>・公園や緑自体に経済効果はないが、癒しの空間として人を集め、中心市街地の活性化につながる。</li> <li>・経済効果は市全体で考えるべき。</li> <li>・道路の問題は周辺の道路網や都市計画道路の整備により解消できる。</li> </ul>	<p>&lt;理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提体によりまちが分断されており邪魔である。</li> <li>・公園整備の総事業費が176億円というのは高い。</li> <li>・公園の維持管理費が年間1億2,600万円かかる。</li> <li>・公園整備による経済効果が見込めない。</li> <li>・草刈りなどの維持管理が大変である。</li> <li>・道路整備が進んでいない地域の課題の解消策となる。</li> </ul>

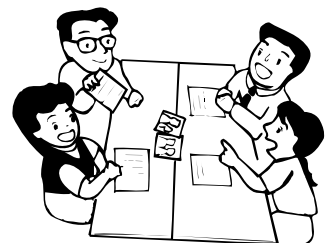
**議会改革推進特別委員会**

地方分権が進み、議会の役割がますます重要視されている中で、時代にふさわしい議会のあり方について調査・研究を行い、種々の議会改革を推進していくために、昨年10月、議会改革推進特別委員会を設置しました。今後、改革にあたっては市民アンケートを実施し、いただいた御意見等も参考にしながら取り組みを進めてまいりますので、御意見、御協力をよろしくお願ひします。

**設置目的** より市民の皆さんに開かれた議会を目指し、改革を推進する諸施策について調査・研究を行うことを目的としています。

**検討経過** 3月末日現在で、4回の委員会と5回の作業部会を行い、議会基本条例や市民アンケート、各会派から出された議会改革検討項目などについて、委員間で議論しています。

今後は、先進地事例の研究等により議員の能力向上を図りながら、市民の皆さんにとってわかりやすい、開かれた議会を目指します。



**① プローブパーソン調査**

モニターとなる人が、外出時にGPSを搭載した端末を携帯し、人の移動状況を記録する調査。数秒間隔ごとに位置データと時刻データを記憶させることで、滞在時間や移動経路、移動速度、アクセス手段など、従来より精度の高い現状分析を可能とするもの。